

ユーザーガイド

最終更新日: 2020年10月11日

本書の情報は予告なしに変更されることがあります。本書に記載されているソフトウェアは、ライセンス契約で許可されている場合を除き、他のいかなる媒体にもコピーすることはできません。NXTGN Music Technology GmbH の事前の許可なしに、本出版物はいかなる目的のためにも、コピー、複製、その他の方法で送信または記録することは禁止しています。すべての製品仕様は予告なく変更されることがあります。すべての商業記号は、それぞれの所有者の保護された商標および商号です。すべての権利は留保されています。©2020 NXTGN Music Technology GmbH



## **Table of Contents**

Menu   メニュー	3
Instrument   インストゥルメント	5
Style   スタイル	6
Drum Kit Section   ドラムキットセクション	8
Instrument & Ambience   インストゥルメント、アンビエンス	8
Mix Preset   ミックスプリセット	10
Drum Kit & Mix Preset SOLID	11
Drum Kit & Mix Preset PHAT	12
Drum Kit & Mix Preset HEAVY	13



## メニュー

画面上部のメニューバーからは、プリセットの読み込み・保存、アップデート通知やライセン ス情報を見ることができます。

<b>Ujam</b> Instruments		<b>⊎</b> Save	📩 Save as			8 <u>6</u> 0
	INSTRUMENT		STYLE (	132 bpm - Off-Beat - 2.0	×	Latch Micro Timing

## プリセットの読み込み

- 「<」「▶」をクリックすると、前後のプリセットへ移動します
- プリセット名をクリックすると、プリセットのリストを表示します

プリセットはジャンル別にまとめられています。



## プリセットの上書き・新規保存

Virtual Drummerでは自分だけのプリセットを作成し、名前を 付けて保存することができます。

- 「Save」を選択すると、選択した際の設定を使用中の プリセットへ上書き保存します
- 「Save as…」を選択すると、現在の設定を新規プリ セットとして保存します

最初から搭載されているファクトリープリセットのみ、上書き 保存をすることはできません。

×	Save Preset
	Your preset will be saved in the Custom Library of this Plugin. Name
	MCMLXXXIV
	Category
	The 80s
	Cancel Save Preset

## プリセットの移動、名前変更、消去

プリセットの移動、名前変更、消去をするには、直接以下のフォルダからプリセットファイル 名を変更して下さい。

## macOS

Factory Presets - /Library/Application Support/UJAM/VD-<title>/Presets User Presets - /Users/USERNAME/Library/ApplicationSupport/UJAM/VD-<title>/Presets

## Windows

Factory Presets - C:\ProgramData\UJAM\VD-<title>\Presets User Presets - C:\Users\USERNAME\AppData\Roaming\UJAM\VD-<title>\Presets

## 通知

Virtual Drummerを立ち上げると自動的にアップデートの有無が確認され、もしアップデートが ある場合は、ベルのアイコンの表示が変わります。クリックするとアップデートをダウンロー ドをするか選択することができます。

## インフォメーションアイコン

「i」アイコンを押すと表示される「About」では、以下の情報を確認することができます。

- 製品のバージョン情報
- ライセンス情報
- Acknowledgments 開発チームの情報
- Visit Product Site 公式サイトへ
- Contact Support サポートへ連絡
- Read User Manual マニュアル閲覧
- License Agreement ライセンス規約



## Instrument



インタラクティブ・キーボードの左側を使い、ドラムの各パートをMIDIトラックに入力することができます。

## Mute / Unmute

「A#2 = Mute」と「B2 = Unmute」を使うと、フレーズ再生時に特定の楽器をミュートするこ とができます。例えば「A#2 = Mute」と「D1 = Snare」を同時に押すとスネアのミュートがON になり、「B2 = Unmute」押すとミュートがOFFになります。

## Latch

- Latch On: この状態で音を入力すると、Stopを押すまでその音が鳴り続けます。
- Latch Off: この状態だと、鍵盤を押している間のみ音が鳴ります。サウンドを試聴する 際に便利な機能です。サステインペダルを使用することも可能です。

## **Micro Timing**

画面右上に表示される「Micro Timing」をクリックすると、タイミングパラメーターが表示されます。ここでは演奏のリズムに関する細かい設定ができます。



## **Player Sync**

DAWのテンポ設定と同期し、4分音符、8分音符、16分音符、Song Positionに合わせて演奏を クオンタイズします。



#### Speed

楽曲のテンポに合わせ、Virtual Drummerの演奏速度を半分(/2)、通常(1x)、倍速(x2)に 変更することができます。

#### Feel

- スライダーを左に動かすと、若干ビートの前で弾く「前ノリ」感が強くなります。ロック系や疾走感のある曲に適しています。
- スライダーを右に動かすと、若干ビートの後ろで弾く「後ノリ」感が強くなります。
   ジャズやバラードに適しています。

#### Swing

ボタンを右に移動するに従って、リズムをスイング(シャッフル)度合いが強くなります。ボ タンを完全に右に動かすと3連符の符割りになります。スイングに対応していないフレーズを選 択した場合はSwingコントロールが反応しません。

#### Humanize

- スライダーを右(Tight側)へ動かすほど、リズムがクオンタイズされます
- スライダーを左(Loose側) へ動かすほど、リズムがヒューマナイズされます

## **Style**

画面中央のドロップダウンメニューから、テンポ(bpm)ごとに分類されているスタイルを選 択することができます。

Virtual Drummerには合計60個のスタイルが搭載されていて、それぞれ特定のグルーヴやリズム に合った名前が付けられています。名前の最後に「2.0」が付いているものはバージョン2.0で 追加されたスタイルです。



## ソングパートの使い方



インタラクティブ・キーボードの右鍵盤には、23個のソングパートが割り当てられていて、鍵盤を押すとソングパートがDAWのテンポと同期して再生されます。

- 白鍵 --- セクション部分
  - Verses = ヴァース
  - Choruses = サビ
  - Specials = その他
  - Stop = 演奏を停止
- 黒鍵 --- 楽曲の繋ぎ部分
  - Intros = イントロ
  - Fills = フィル
  - Endings = エンディング



• Breakdowns = ブレイクダウン

鍵盤下部の暗くなっている箇所を押すと、割り当てられたパターンが演奏されます。

鍵盤上部の明るくなっている、6つの点が表示されている箇所をDAWのMIDIトラックにドラッグ&ドロップすると、演奏パターンのMIDIがトラックにインポートされます。

### クラッシュシンバルの自動追加

フィルからセクションに戻ると、そのセクションの最初のHi-HatかRideがCrashに置き換わりま す。Hi-HatとRideがないパートの場合はCrashは鳴りません。Crashを追加したい場合は、鍵盤 の「C#2」か「A2」を押して手動で追加してください。

### モジュレーションホイール / ピッチホイール

モジュレーションホイールを使うと演奏の強弱をスムーズにコントロールでき、クレッシェンドやデクレッシェンドを作ることができます。ピッチホイールを上に動かすとキックがミュートされ、下に動かすとスネアがミュートされます。

## **Drum Kit Section**

画面中央左の「Drum Kit」セクションでは、5種類のキットからお好みのキットを選択し、キット名の右側にある「Slam」ノブで全体的なサウンドの強さを調節します。各ドラムキットの詳細は11~13ページ目をご参照ください。

	▶ (	ipen		
DRUM KIT	- pi d	PAL UNCH IBEP IDRA	Slam	

## **Instrument & Ambience**

#### **INSTRUMENTS**

画面左下のInstrumentで、Kick、Snare、Tom、Hi-Hat、Ride、Crashのアイコンをクリックすると、選択したパートの音量を含む様々なパラメーターを調節できます。



- 音量:アイコン左の矢印を上下して増減
- Type: 各パートのサウンドを最大4種類から選択
- Decay: 左に回すとエンベロープが短くなり、よりタイトなサウンドに
- Tuning: チューニングを±7半音で調節
- Reverb: Master セクションへのReverbのセンドレベルを調節
- S: 押すと選択中のパートがソロ状態になり、アイコンの隣に黄色い点が表示
- M: 押すと選択中のパートがミュートされ、パートアイコン隣に赤い点が表示

### Ambience

Ambienceにはドラムキット録音時の実際のアンビエンスが使われていて、OverheadsとRoom からアンビエンスを調節します。

	INSTRUMENT		
Kick Snare	<ul> <li>Image: Second se</li></ul>	Ride Crash	▲ ↑↑ ○ ▲ ドオ ○ ▲ ビン Overheads Room
	Compressor Low Pass	Hi Pass	Individual Master Output

#### Overheads

ドラマーの頭上に吊り下げられている一対のマイク。主にシンバルを集音していますが、他の パートからの音も若干拾っています。ステレオイメージの作成やトランジェントの調整、キッ トのまとまりのあるサウンドを作るために使われます。

## Room

レコーディングルーム後方と、ドラムキットの左右後ろ側に配置された一対のマイク。ドラム キットに深みとライブ感を追加するのに使われます。

• Compressor: コンプレッサーの量を調節

- Low Pass: ローパスフィルターの量を調節
- Hi Pass: ハイパスフィルターの量を調節

InstrumentとAmbienceのパラメーターは違うプリセットを読み込むと上書きされるので、設定 を保存したい場合はプリセットに保存してください。

#### **Individual Outputs**

Masterを選択して各パートをマスターに送るか、Individualを選択してDAWのAUXバスに個別 (マルチアウト)で出力するか選択することができます。各ドラムパートがDAWに送られる順 番は、InstrumentとAmbienceに左から表示されている順番です。

マルチアウト設定は、お使いのDAWによって変わります。AUXチャンネルの設定方法について はDAWのマニュアルをご参照ください。

## **Mix Preset**



画面中央右の「Mix Preset」セクションには、それぞれのジャンルに最適化された6つのミック ス・プリセットが用意されていて、最小限のコントロールでサウンドを最大限にコントロール できるように設計されています。

プリセットを選択して「Amount」ノブでプリセットの量を調節すると、Virtual Drummer内部 にプログラミングされた様々な設定が調節されます。

#### **Master Section**

Virtual Drummer 2から搭載、ドラム全体の ミックスを調節できる「Master」セクション が追加されました。



- Reverb: 全体のリバーブの量を調節
- Saturate: サチュレーションの量を調節
- Maximizer: 音圧の量を調節

Reverbノブの下から、Room、Chamber、Plateなどリバーブの種類が選択できます。

メーター右の矢印を上下に動かして、マスター出力音量を調節します。

## Drum Kit & Mix Preset --- SOLID



SOLIDはロック、ポップ、バラードなどモダンで洗練されたドラムサウンドとミックスを必要とするものは、どんなジャンルにも対応できる万能型ドラマーです。

## Kit

- Soft: 温かみのある、低音~中音が強調されたサウンド
- Deep: 深みのある、最低音が強調されたサウンド
- Natural: 何も処理がされていないサウンド、他のエフェクトを使う場合はこれを選択
- Tight:小さくてタイトなキット、軽くてパンチの効いたスネアサウンド
- Hard: パンチの効いたキット、ハードにヒットする攻撃的なサウンド

#### Mix Preset

6つのキャラクター・プリセット、ルーム・コントロール、オーバーヘッド・コントロール、リ バーブ・ノブ、ボリューム・ボタンの組み合わせにより、サウンド・エンジニアリングのスキ ルを必要とせずに、ドラム・サウンドを非常に多彩にコントロールすることができます。 ここで選択できる6つのミキシング・コンソール・プリセットは、Virtual Drummerの内蔵ミキ シング・コンソールの何百ものパラメータを設定します。

- Smooth: 中~高域が減衰された、広いレコーディングスタジオのサウンド
- Edge: 力強い中域でCompressionのかかった、タイル張りのドラムブースのサウンド
- Retro: エイジングされたドラムキット、テープマシンとアナログコンソールのようなサウンド
- **Big**: 巧妙なダイナミクスとEQでより存在感のあるロックコンサートホールのサウンド
- Power: パンチを加え、存在感のあるEQ処理が施された、小さなレコーディングルームのサウンド
- Crush:誇張されたCompressionと微妙なディストーション、"低ビットレート"のドラム ループサウンド



## **Drum Kit & Mix Preset --- PHAT**



PHATは、ファンキーでグルーヴ感のあるヒップホップドラマーです。

#### Kit

- Dry: 暖かく、バランスのとれた深みのあるスネアとナチュラルなサウンド
- Fresh: 小さめのキックとスネアが溶け込む、開放的なサウンド
- Deep: 電子音に近いキックとローエンドを多用した、深みのあるサウンド
- **Hip**: 少し高めにチューニングされた、共鳴するキックと明るめのモダンなサウンド
- Fat: アタックが弱めのキックと、ファットでタイトなスネアが特徴の四つ打ちサウンド

#### **Mix Preset**

- Close: 中域を削り、低音と高音を追加した、マイクに近づけたようなドライサウンド
- Broad: キックとスネアを大幅に強化し、全体にパンチを加えたサウンド
- Bright: エッジ感とパンチを加えた、より鮮明でフレッシュなキットのサウンド
- Punch: ローエンドを追加し、残響を取り除いた短めのサウンド
- Rattle: 低中域が追加された、ドラムキットのネジが緩んだようなLo-Fiサウンド

## Drum Kit & Mix Preset --- HEAVY



HEAVYは、名前の通りヘヴィでラウドなロック&メタル系ドラマーです。

Kit

- Open: あまり前に出すぎないスネアと大きめのタムを使った、ナチュラルで開放的、太く温かみのあるサウンド
- **Fat**: 力強いスネアとファットで深いキックを持った、パワフルなサウンド
- Punch: タイトなチューニングのスネアと強めのキックが作る、タイトなサウンド
- Deep: 若干緩くチューニングされた、響きの良いオールドファッションなサウンド
- Hard: スネアとキックが強調された、ロックやメタルに適したサウンド

#### **Mix Preset**

- HiFi: 中域を減らし、低域・高域が強調された「ドンシャリ」サウンド
- **Raw**: EQとマルチバンドコンプを組み合わせ、激しさのあるパンクなサウンド
- Retro: テープ・サチュレーションを加えた、60~70年代前半のビンテージサウンド
- Punch: 名前の通り「パンチの効いた」サウンド
- Comp: 細かく調節されたコンプレッションを加えた、アタックのあるサウンド
- Crush: コンプレッションを強めに掛けてパンチとサステインを加えたサウンド

## その他の機能

## リサイズ可能な画面

画面右上の通知ベル隣のアイコンから、もしくは画面右下のストライプをドラッグすることで 画面をリサイズできます。



**PreSonus Integration** 



新しいVirtual Drummer 2.1アップデートでは、Studio One 4.6.2以降のバージョンにピアノロー ル・インテグレーションが追加されました。

スタイルやドラムキットがピアノロールに表示され、トラックに適したスタイルやドラムを素 早く簡単に見つけることができます。ピアノロールの左側に赤い線でスタイルと楽器の音域が ハイライト表示されます。